

# 令和7年度 事業報告書

学校法人池田学園  
東京服飾専門学校

## 1.教育理念と取組、成果

- 全ての教職員において、実務経験を内外に示せる活躍を持つ人を採用し、「ファッション業界での即戦力となる人材の育成」を目標に、各学科が目指す職種に合致した教育を行うことを全教職員に徹底できていると評価するものである。  
また、創設者の池田淑子が考案した池田式製図法をもとに、学生一人ひとりが実践的な技術や知識を身に付けられるよう、懇切丁寧な教育・指導を心がけている。
- 企業との企業連携授業を積極的に取り入れることによって、企業派遣講師の指導による、現場で求められる知識や技能の習得を目指し、人材の育成に役立っている。さらにそうした知識や技術を持った学生を育成するべく、授業内容や設備の拡充を行った。
- 企業連携授業や研修などの授業内容や、就職実績などの情報を学校資料・ホームページ・オープンキャンパスの説明会資料で公開し、成果を明示している。
- 教職員および学生が、研修先企業の機密情報に触れる機会も多いため、コンプライアンスに対する意識教育を徹底して意識を高めることは、社会に出るうえでの大きな経験になると考えられる。  
特に学生においては機密の取り扱いを理解するために、研修前に面談や誓約書の提出をおこない、問題発生の防止に努めてきており、職務によって知りえた情報の取り扱いに留意するという社会人としての常識を実践の場で身に付ける良い機会となっている。  
また外部からも一定の評価がいただけているものと自負する。

- 検定試験においては以下の様な合格率結果となった。

パターンメーキング技術検定	3級	100%
パターンメーキング技術検定	2級	40%
色彩検定	3級	60%
色彩検定	2級	100%
洋裁技術認定試験	初級	64%
洋裁技術認定試験	中級	0%
ファッションビジネス能力検定	3級	33%

- 上記について、入学志望者には体験入学や学校見学の機会を含め、学校パンフレット、ホームページ等において、入学を希望する学生や保護者に対しては様々な場面で周知を行っている。

## 2.学校運営について

- 授業期間を前期・後期Ⅰ・後期Ⅱの3期生から、前期・後期の2期制へ変更し、科目数と授業の時間数の調整を行なった。
- 在校生のメンタルケアや教職員との連携アシストとして、スクールカウンセラーを設置。業務委託の学生のメンタルヘルスサポートを置き、減少に務める体制を整えた。
- 学校資料やオープンキャンパスでの説明会において、実施されているカリキュラムの内容や産学連携、インターシップ、就職状況などを適切に説明している。

## 3.学生就職率等について

希望職種への就職率を高め、後悔しない新卒採用を目指し、企業との接点を増やすと共に面談を頻繁に行い、希望進路のヒアリングとそれに対する指導、ヒアリングに努めた。企業校内説明会は昨年度の10回から13回へと3割増加し、企業のジャンルも前年よりバラエティに富んだものにした。就職率は77.8%で前年より5%減少した。これは自分の行きたい企業、職種を優先し、本来の希望を変えてでも内定を獲ろうとする学生数が減少したことにより起因すると思われる、希望学生には引き続き就職指導を行っている。  
面談の拡充、強化は引き続き今年度も取り組んでおり、企業校内説明会は16回の予定で現在進行しており、量、質共に拡大している。今後はさらに職種、業界の幅も増やしていきたい。  
企業、業種、職種の紹介とマッチング、きめ細かな面談を通じ、就職率は前期を超えることはできなかったが早期離職率はかなりの割合で低下している。今後も学生の就きたい職種、企業を優先させるべく企業との連携を密にし、さらに多くの企業と接しながら、就職率、満足度共に向上させる活動を推進していく。